



高知こどもの図書館

企画展「へいわってすてきだね 2024～子どもの本の作家たちと戦争～」関連企画

# 講演会

くつき しょう  
児童文学作家 朽木 祥 さん

## 「物語の役割—失われた時をたずねて」



日時 2024年11月16日(土曜日)  
午後 2 時～4 時  
会場 高知県立公文書館3階会議室  
(高知市丸ノ内 1-1-10 高知こどもの図書館と同じ建物)  
定員 70名 要申し込み(TEL 088-820-8250)  
主催 認定 NPO 法人高知こどもの図書館

朽木 祥(くつき しょう) 広島出身。被爆2世。  
デビュー作『かはたれ』(福音館書店)で児童文芸新人賞、日本児童文学者協会新人賞、産経児童出版文化賞受賞。その後『彼岸花はきつねのかんざし』(学習研究社)で日本児童文芸家協会賞受賞。『風の靴』(講談社)で産経児童出版文化賞大賞受賞。『光のうつつえ』(講談社)で小学館児童出版文化賞、福田清人賞受賞。『あひるの手紙』(佼成出版社)で日本児童文学者協会賞受賞。ほかの著書に『引き出しの中の家』(ポプラ社)、『月白青船山』(岩波書店)、『八月の光 失われた声に耳をすませて』(小学館)などがある。近年では、『光のうつつえ』が英訳刊行され、アメリカでベストブックス 2021 に選定されるなど、海外での評価も高まっている。